

平成 16 年 11 月

各 位

平成 17 年 3 月期 中間決算の概要について

株式会社アプラス

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度、平成 17 年 3 月期中間決算を発表いたしましたのでお知らせいたします。

当中間期におきましては、ショッピングクレジット事業、カード事業、消費者金融事業等のコア事業全般について概ね堅調に推移いたしました。

今後は、新生銀行グループのノンバンクビジネス部門の中核として、ショッピングクレジット事業を基盤としてコア事業の更なる強化に取り組んでまいります。

今後とも何卒倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

平成16年9月中間期の業績（単体）

	営業収益	経常利益	中間純利益
平成16年9月中間期	484億円	14億円	2,646億円
平成15年9月中間期	530億円	15億円	2億円

< 概要 >

営業収益は「コア事業」全般は堅調に推移いたしましたが、当中間期におきまして、新生銀行との全面提携に伴う「ノンコア事業の売却・分割」ならびに新生銀行に準拠した「基準の適用」および「方針の見直し」等の措置を実施いたしましたことにより前中間期比46億円減少いたしました。

経常利益は営業費用における貸倒引当金繰入額が大幅に減少したことにより前中間期比1億円の減少となりました。

中間純利益は新生銀行との全面提携に係る措置に伴い、特別利益940億円、特別損失3,251億円を計上したことにより 2,646億円となりました。

なお、中間純損失の計上による自己資本のマイナスは一過性であり、平成17年1月実施予定の追加増資により自己資本は飛躍的に増強される見込みであります。

< 配当について >

当中間期の配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。利益配分に関する基本方針に則り、早期復配を目指してまいり所存であります。

平成17年3月期業績予想（単体）

	営業収益	経常利益	当期純利益
通 期	970億円	45億円	2,618億円

< 概要 >

本体のコア事業に経営資源を集中することにより下期は上期比増収を見込んでおります。借入金残高の減少等による金融費用の大幅な減少により、下期経常利益は上期比大幅増加を見込んでおります。

新生銀行との全面提携により、弊社は業界トップクラスの「資産の健全性」と安定した「自己資本比率」を具備することとなります。

今後につきましては、「コア事業」の更なる強化をはかり、総合的な「リテール・ファイナンス・サービス」を提供する“ノンバンク”としてプレゼンスを早期に確立すべく、積極的な事業展開をはかってまいります。

以 上